



# 成長可能性に関する説明資料

ギークス株式会社  
東証マザーズ：7060

会社概要 P02

市場動向 P12

特徴・強み P16

成長戦略 P24



## 会社概要

# 会社概要



社名	ギークス株式会社 (geechs inc.)			
設立	2007年8月			
資本金	972,152,600円 (2019年3月20日現在)			
従業員	311名 (2019年1月31日現在)			
本社住所	東京都渋谷区道玄坂2-11-1 G-SQUARE10F (9F,8F,6F)			
拠点	大阪支店、福岡支店、名古屋サテライトオフィス			
グループ会社	G2 Studios株式会社、NexSeed Inc. (Philippines cebu)			
役員構成	代表取締役 取締役 取締役 取締役 執行役員 執行役員	曾根原 稔人 佐久間 大輔 成末 千尋 松島 俊行 桜井 敦 高原 大輔	監査役 監査役 監査役	佐々木 貴 秦 信行 花木 大悟
事業内容	IT人材事業、IT人材育成事業、ゲーム事業、動画事業、インターネット事業			
主要株主	曾根原 稔人 (40.1%) 合同会社ベインパートナーズ (38.4%) WMグローブ 3号投資事業有限責任組合 (15.6%) みずほ成長支援投資事業有限責任組合 (2.7%) 加賀電子株式会社 (1.1%)			
売上高	2,581,971千円(2018年3月期)			
総資産	2,826,449 千円(2018年3月期)			

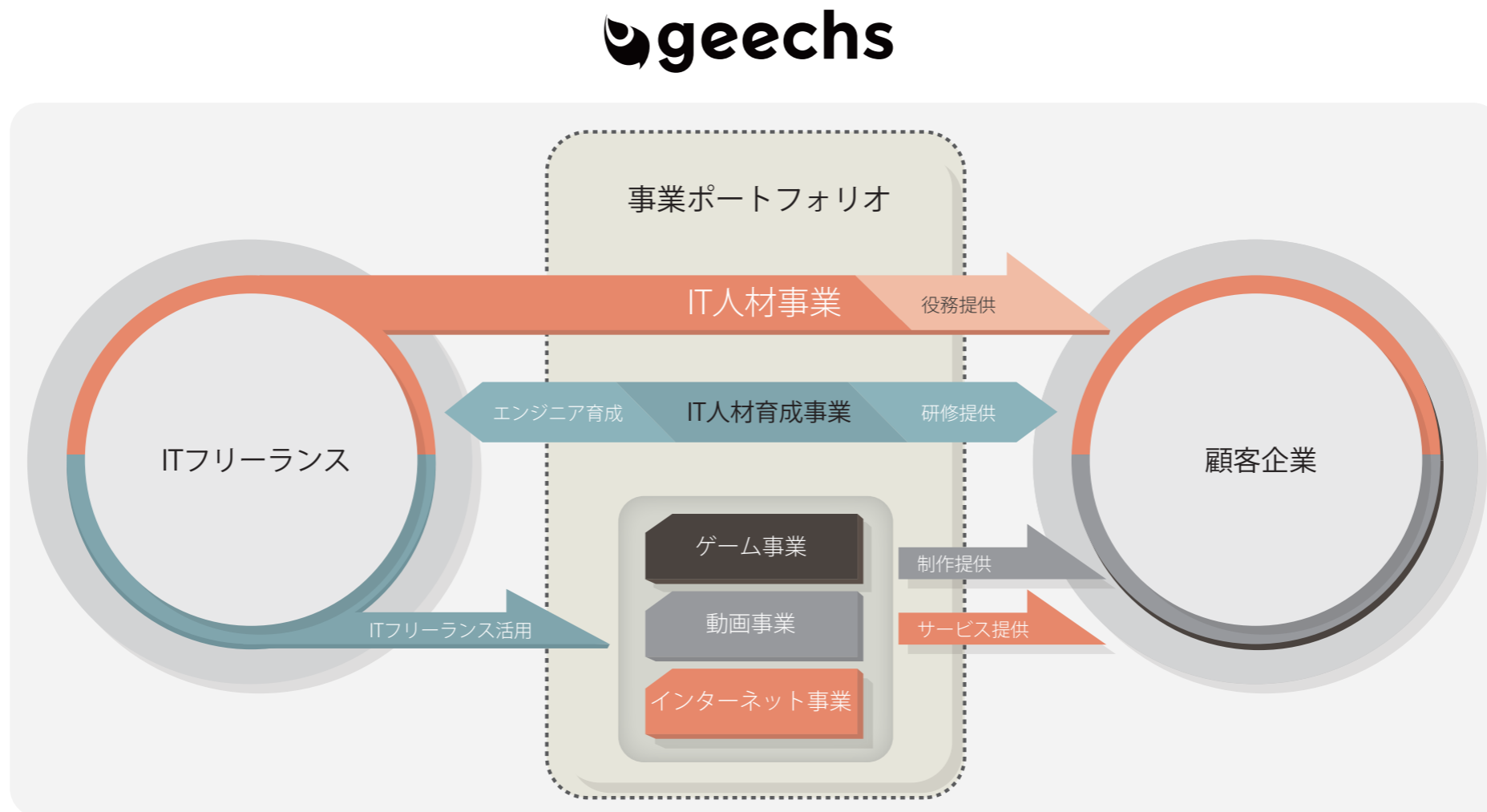
## 21世紀で最も感動を与えた会社になる

ギークスが提案するエンジニアリングスタイル  
『技術リソースのシェアリングプラットフォーム』



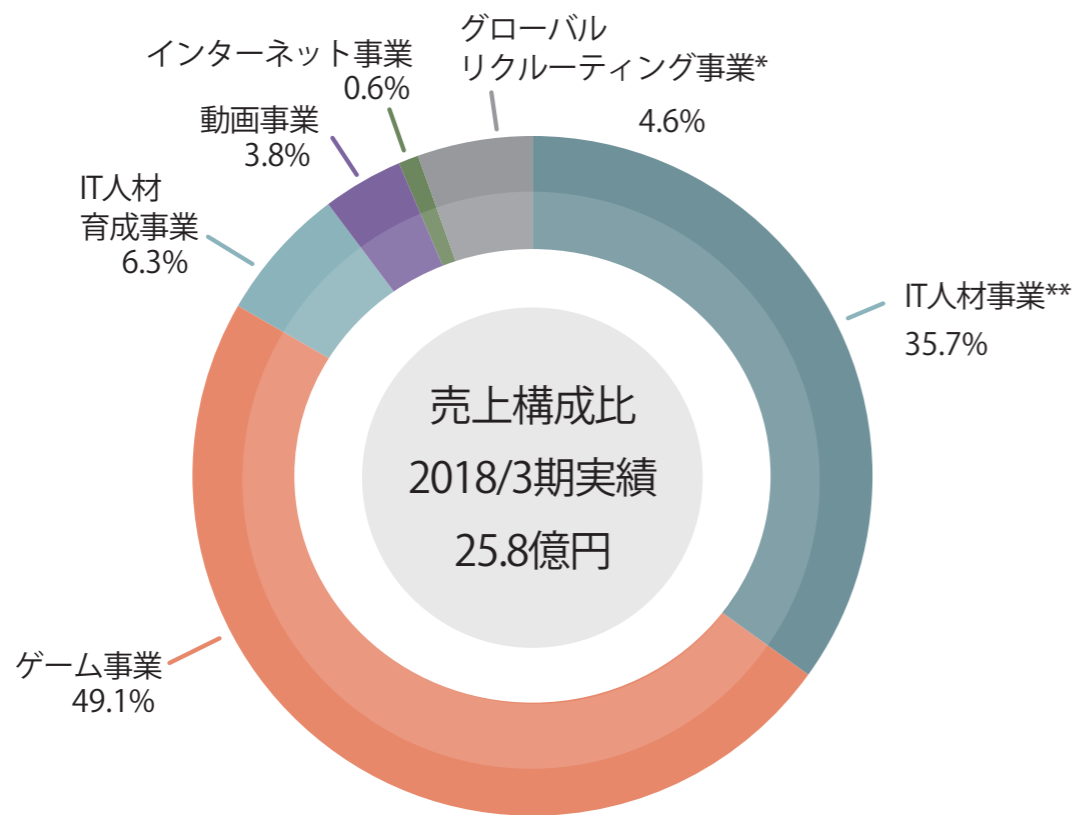
- ▶ ITフリーランスの働き方を支援し、企業向けに技術リソースのシェアリング事業を展開。
- ▶ 技術スキル・経験・志向性等をベースに、開発ニーズのある企業と最適なマッチングを実現。

当社グループは子会社 2 社を含む全 5 事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業」「IT人材育成事業」「ゲーム事業」「動画事業」「インターネット事業」に分類されます。



- IT人材事業を主軸に、培った資産を活かし新規事業を展開するポートフォリオ経営。
- IT人材事業の売上高はネットで計上される為、売上高の約50%がゲーム事業だが、利益の源泉はIT人材事業。

## 売上高内訳



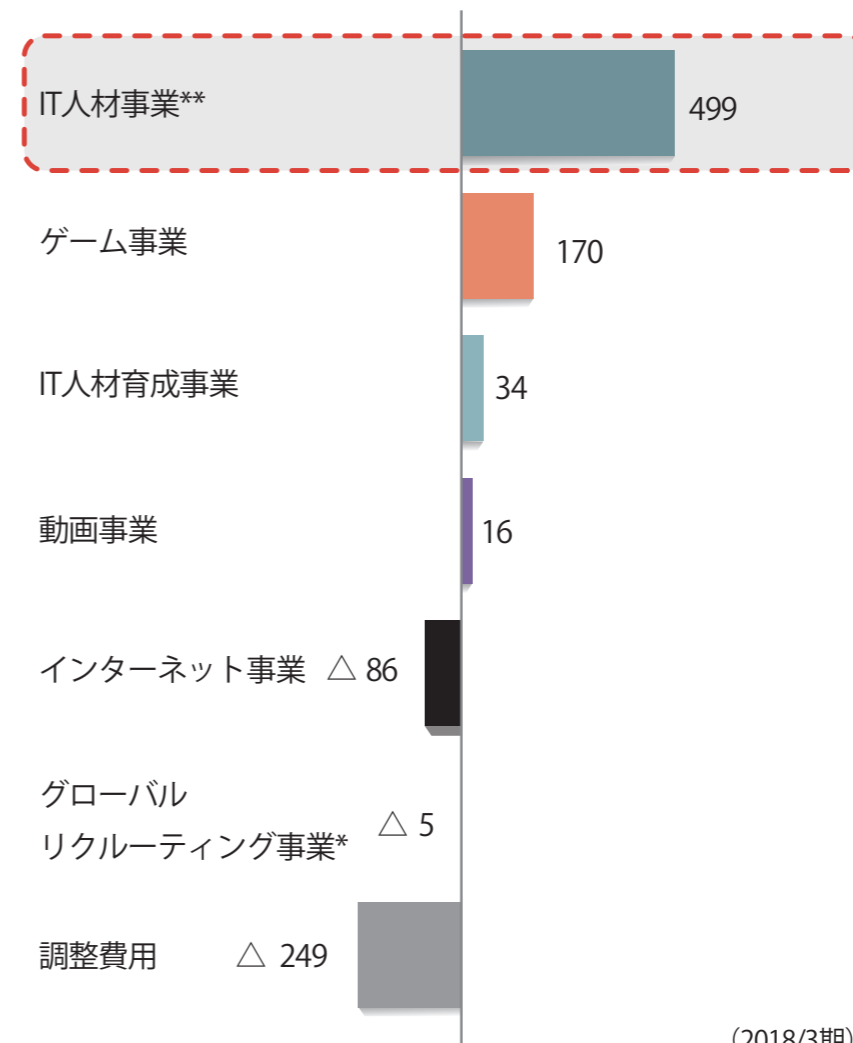
\*\* IT人材事業のみネット売上計上

顧客企業からの受注額からITフリーランスへ支払った発注額の差分を売上として計上

\* 2018年4月に売却

## 営業利益内訳

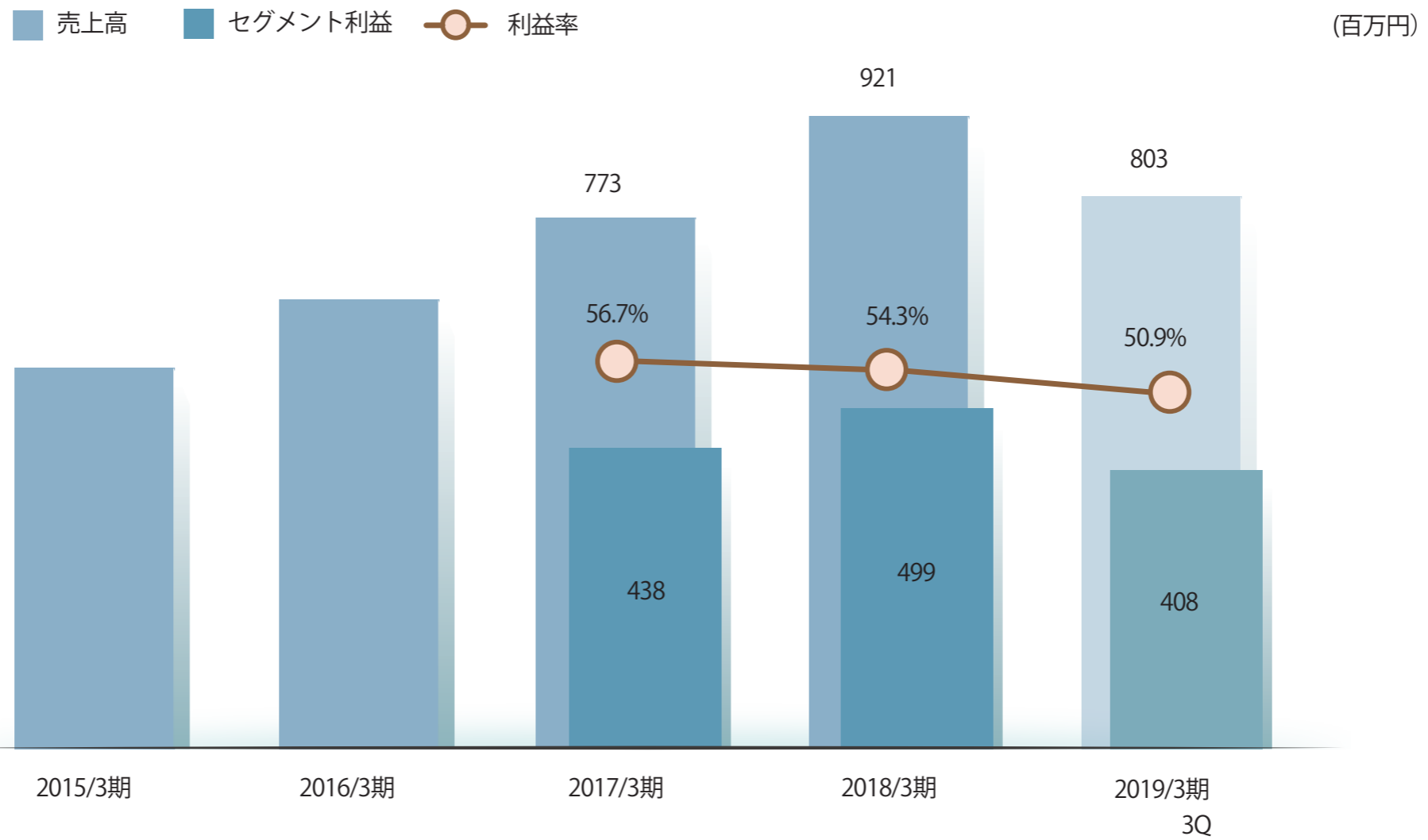
(百万円)



(2018/3期)

IT人材事業の売上は、YoY15%~20%の成長率で順調に業績を拡大。  
 ネットで売上計上している為、営業利益率が高い。

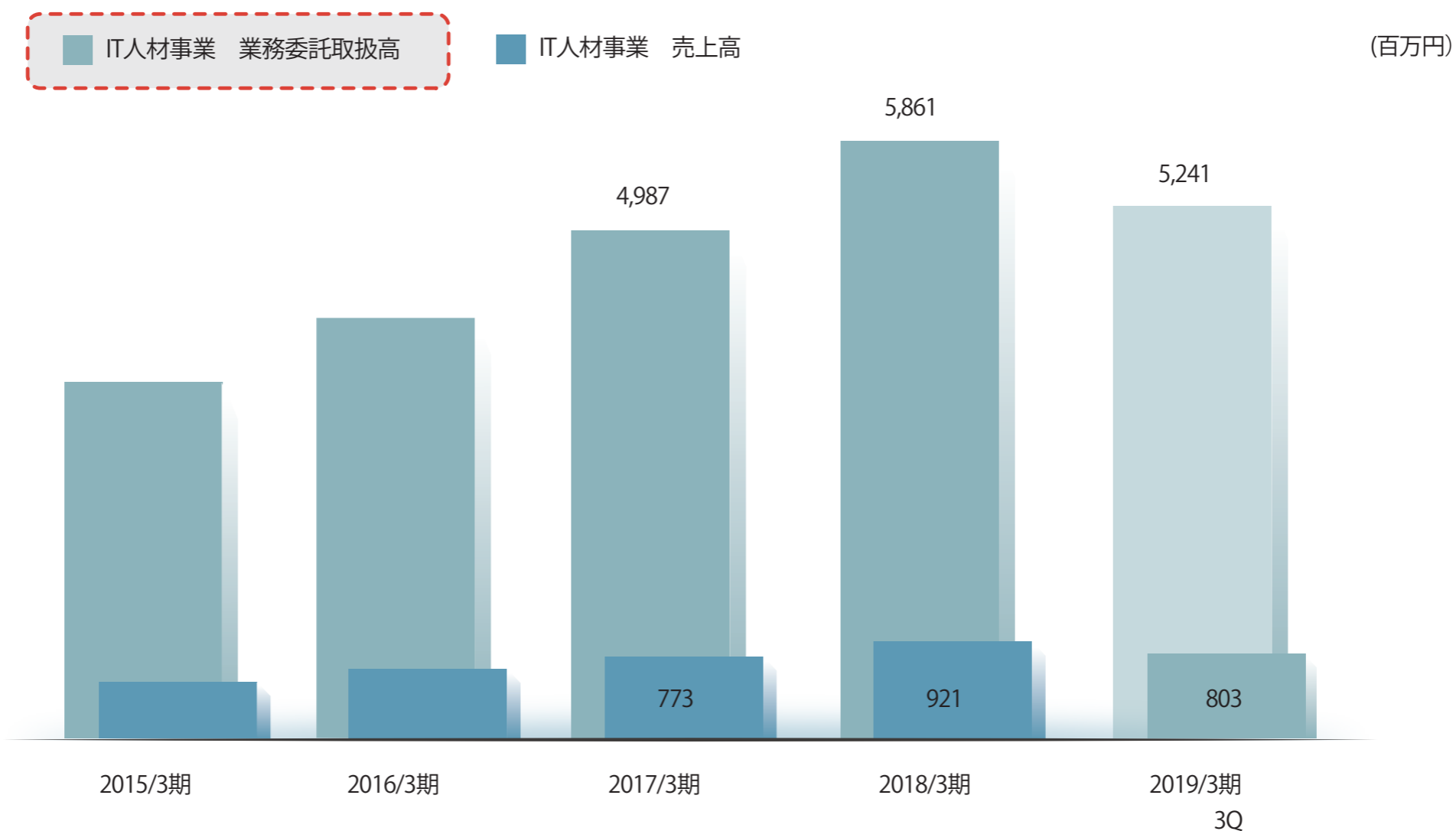
## IT人材事業:業績推移





業務委託取扱高は顧客からの業務委託受注額で、ここからITフリーランスへの業務委託費を支払った差分をIT人材事業の売上として計上。

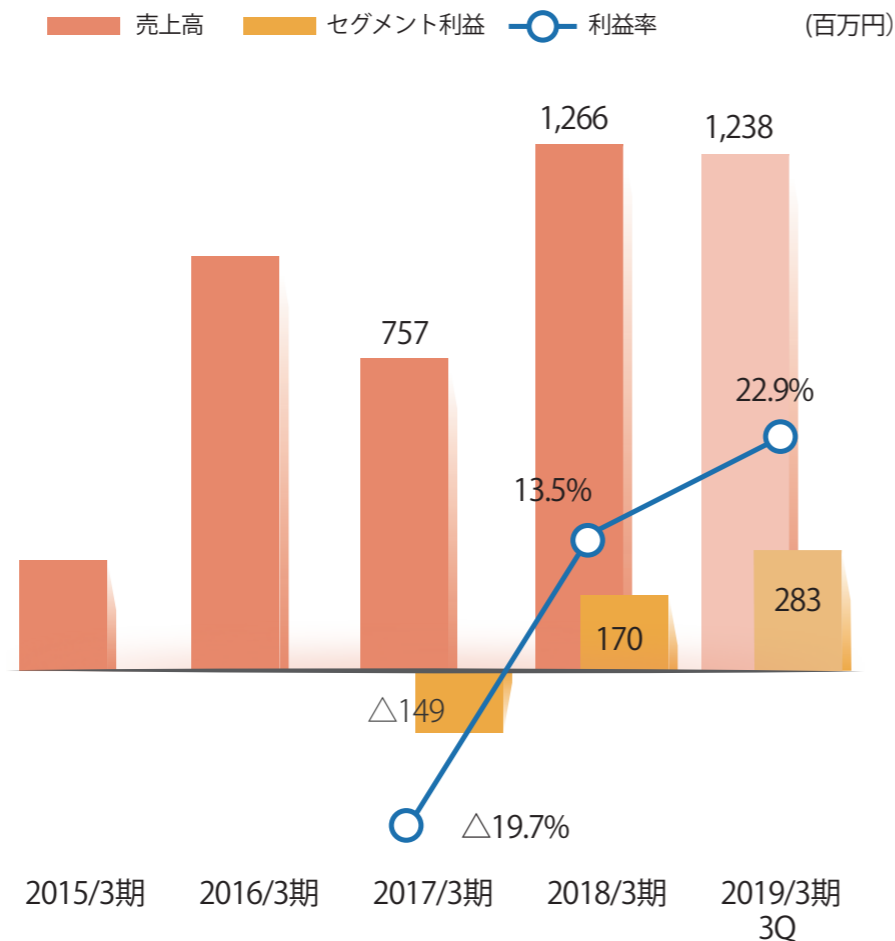
## IT人材事業:業務委託取扱高推移



- 大手ライセンサーやゲームメーカーなどのゲーム配信事業者と協業・パートナーシップ。
- 売上は、ゲーム配信事業者から開発・運営の受託収入と一部レベニューシェア収入。
- 主に女性向けのゲーム制作の企画・開発を得意とし、自社開発したリズムゲームエンジンを保有。
- IT人材事業とのシナジーで、実装工程ではITフリーランスを活用した開発ラインを組成。

<b>企画力</b> 主に女性向けタイトル・リズムゲームエンジンを使用した企画実績が豊富	<b>開発力</b> IT人材事業との連携による柔軟な開発ライン確保と技術資産の有効活用	<b>運営力</b> 豊富な運営実績によるノウハウ蓄積とエンゲージメントを意識した関係構築	<b>プロ意識文化</b> ゲーム開発プロ集団として顧客の成功体験最大化を常に意識する組織力
---	---	--	---

## ゲーム事業業績推移



## 主な開発実績タイトル



### 「アイドルリッシュセブン」

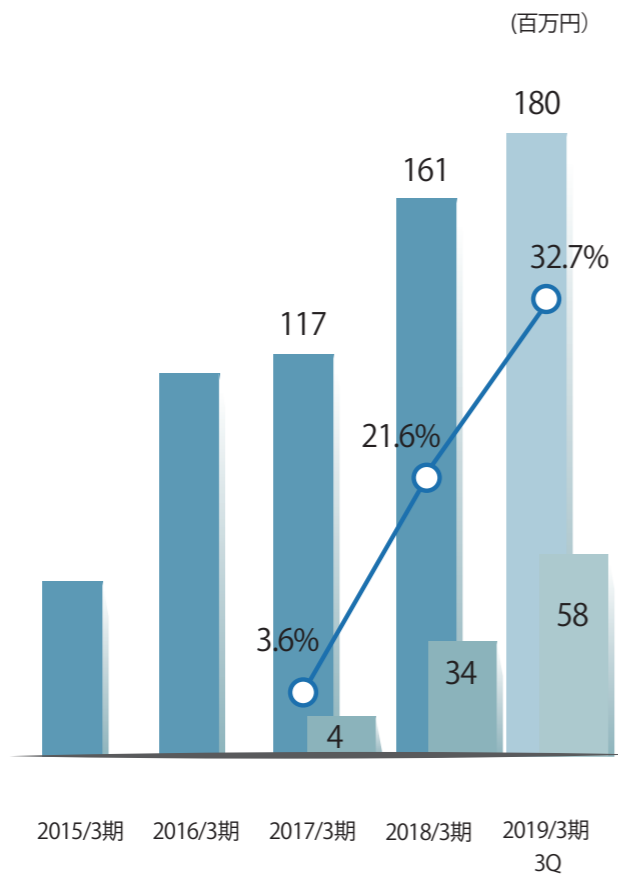
企画・制作を(株)バンダイナムコオンライン、開発をギークスグループであるG2 Studios(株)が行う、男性アイドルユニットの育成が楽しめるフルボイス・ドラマチックリズムゲームです。プレイヤーは新人アイドルと共にアイドル界の頂点を目指して個性あふれる7人のキャラクターを育成します。

配信元:(株)バンダイナムコオンライン  
 ©アイドルリッシュセブン CD: Arina Tanemura  
 平成27年8月:iOS・Android版配信開始

## IT人材育成事業

- IT人材育成のための「エンジニア留学」を提供。
- 生徒増やスクール増により増収増益。

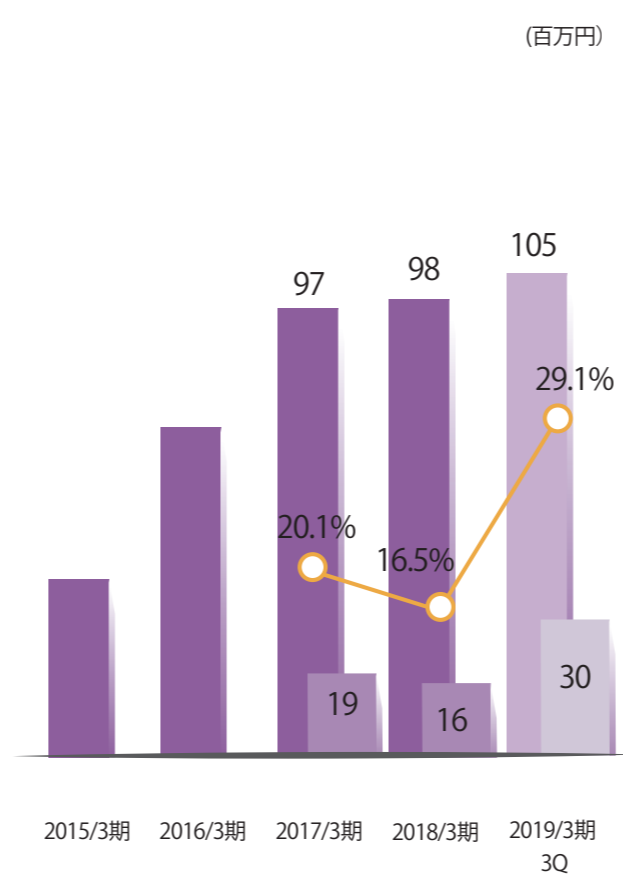
■ 売上高 ■ セグメント利益 ○ 利益率



## 動画事業

- 遊技機プロモーション関連動画制作の受託制作。
- VR/ARなどの新技術を活用した案件の獲得に注力中。

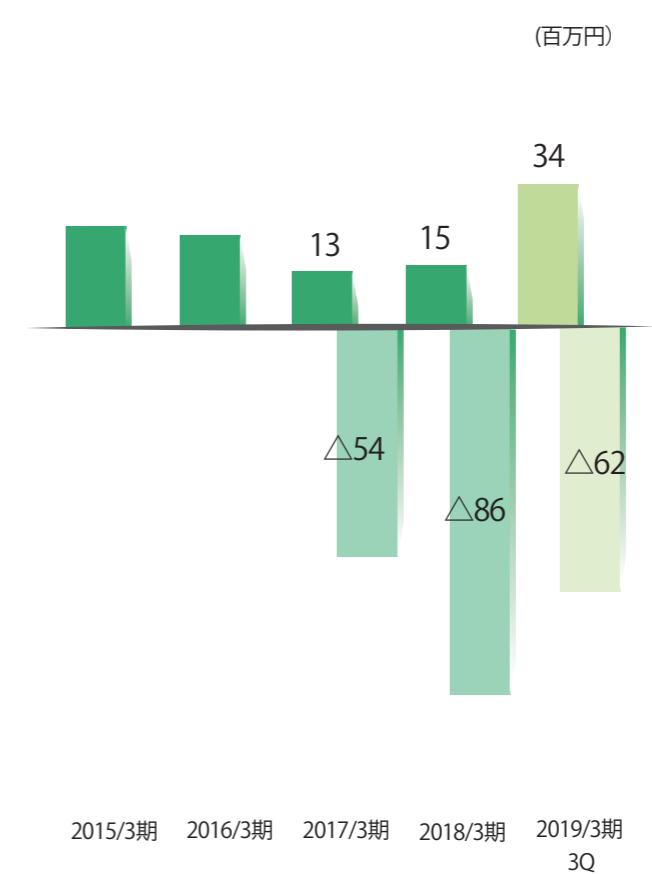
■ 売上高 ■ セグメント利益 ○ 利益率



## インターネット事業

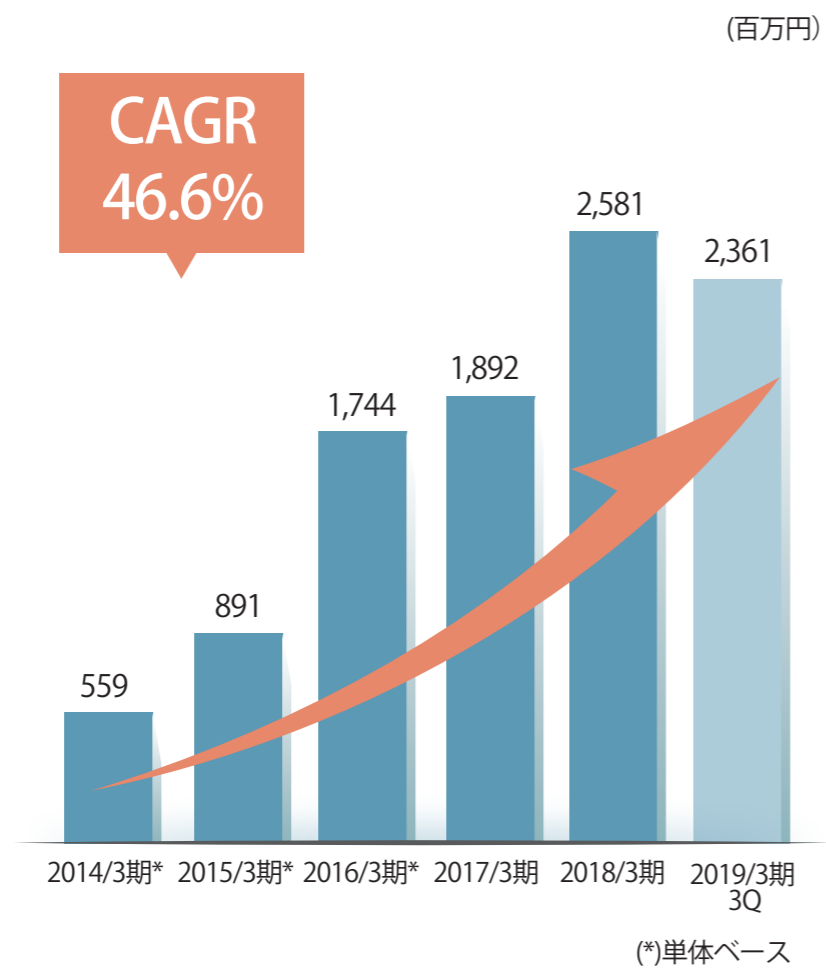
- ゴルフ情報専門サイト運営。
- 売上は記事広告・動画広告がメイン。
- 先行投資段階。

■ 売上高 ■ セグメント利益

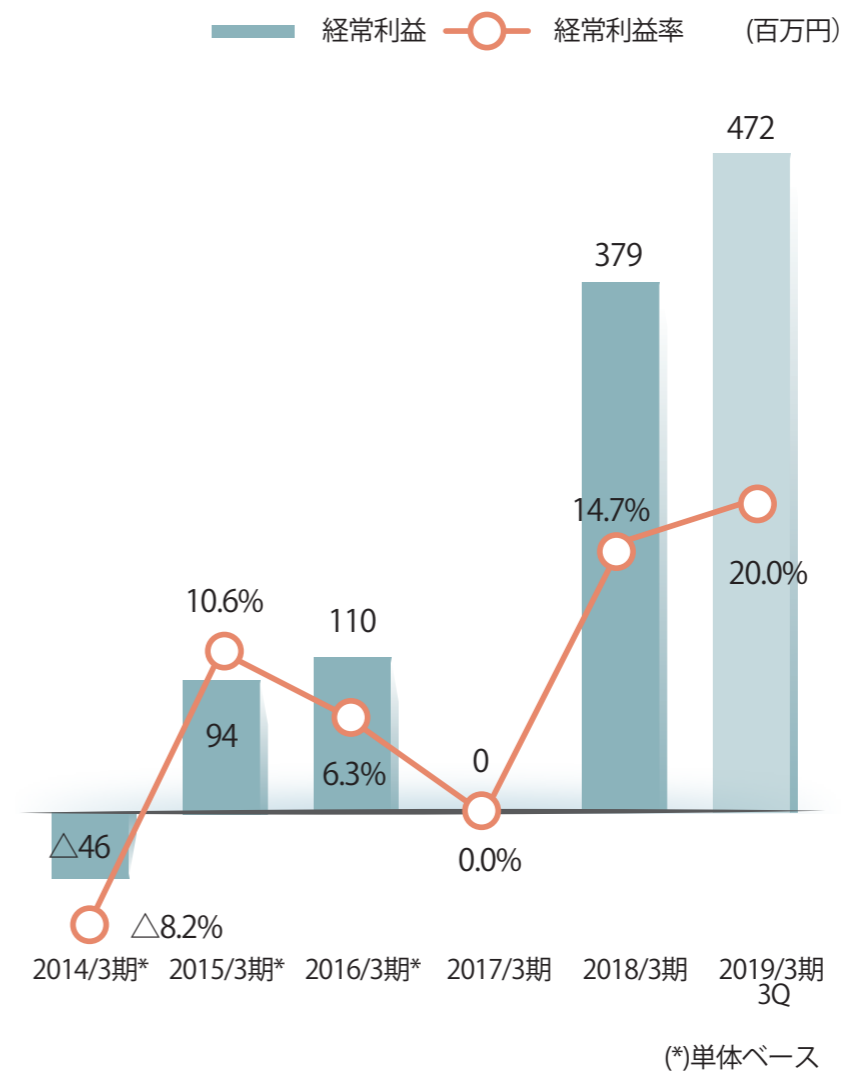


売上は拡大基調で順調に推移し、直近5年間のCAGRは46.6%と高い。  
 経常利益も2018/3期より拡大し、同利益率も急速に上昇。

## 売上高の推移



## 経常利益の推移

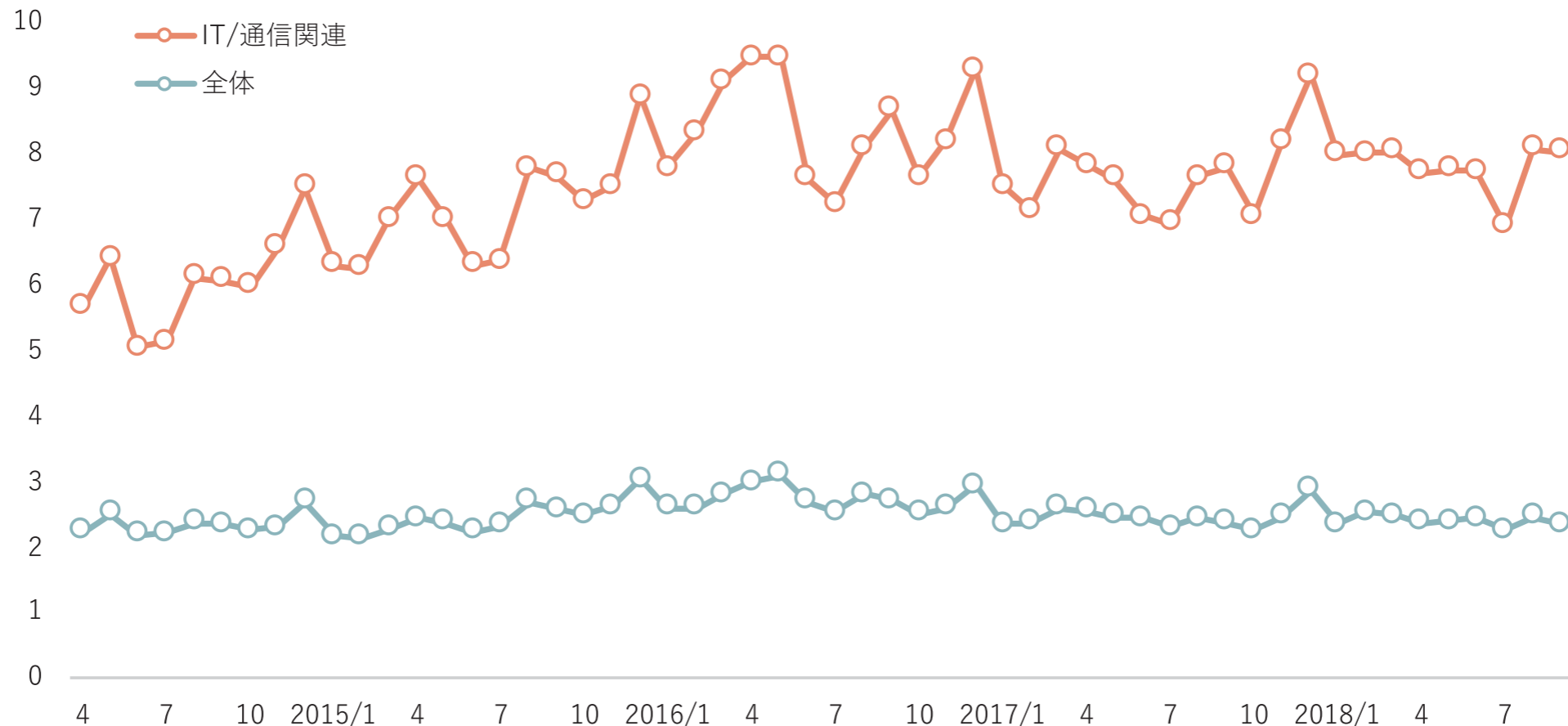




## 市場動向

転職市場における有効求人倍率は全体の3倍弱であるのに対して、IT/通信関連人材は8倍超と極めて高く、即戦力となるIT人材の需給は逼迫し、よりITフリーランス人材が求められる。

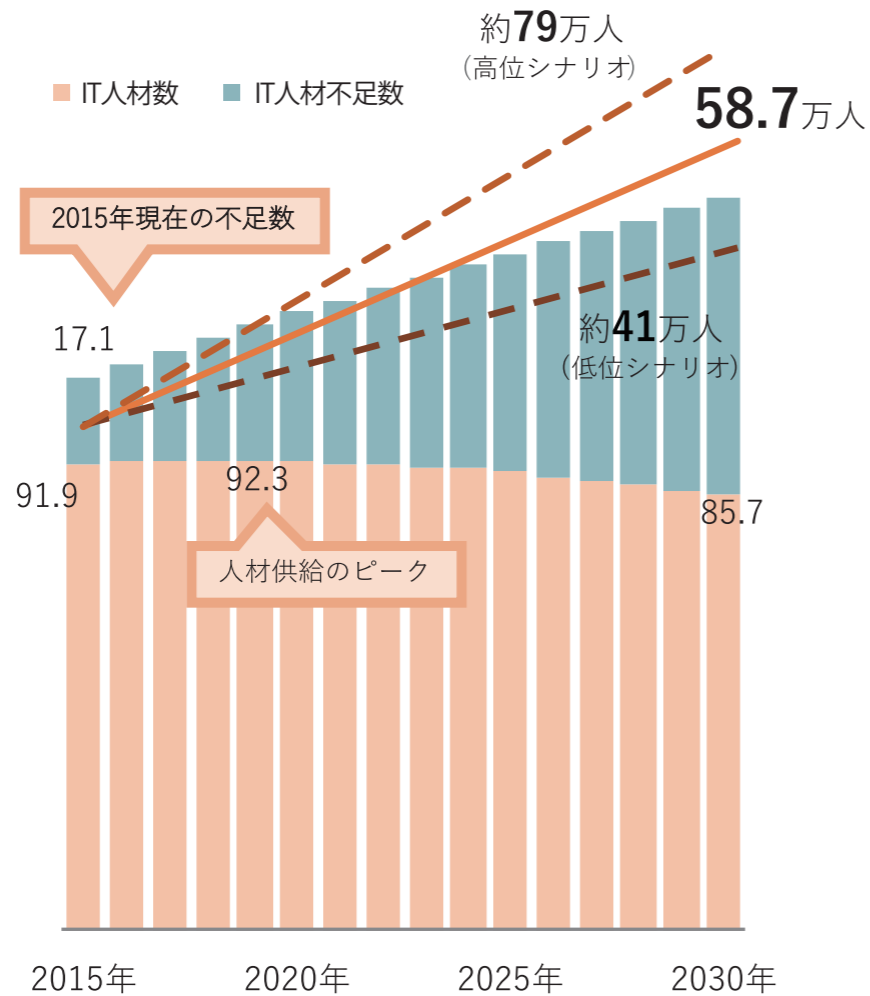
転職求人倍率の推移



(出所)パーソルキャリア株式会社 転職・求人doda 求人倍率データ

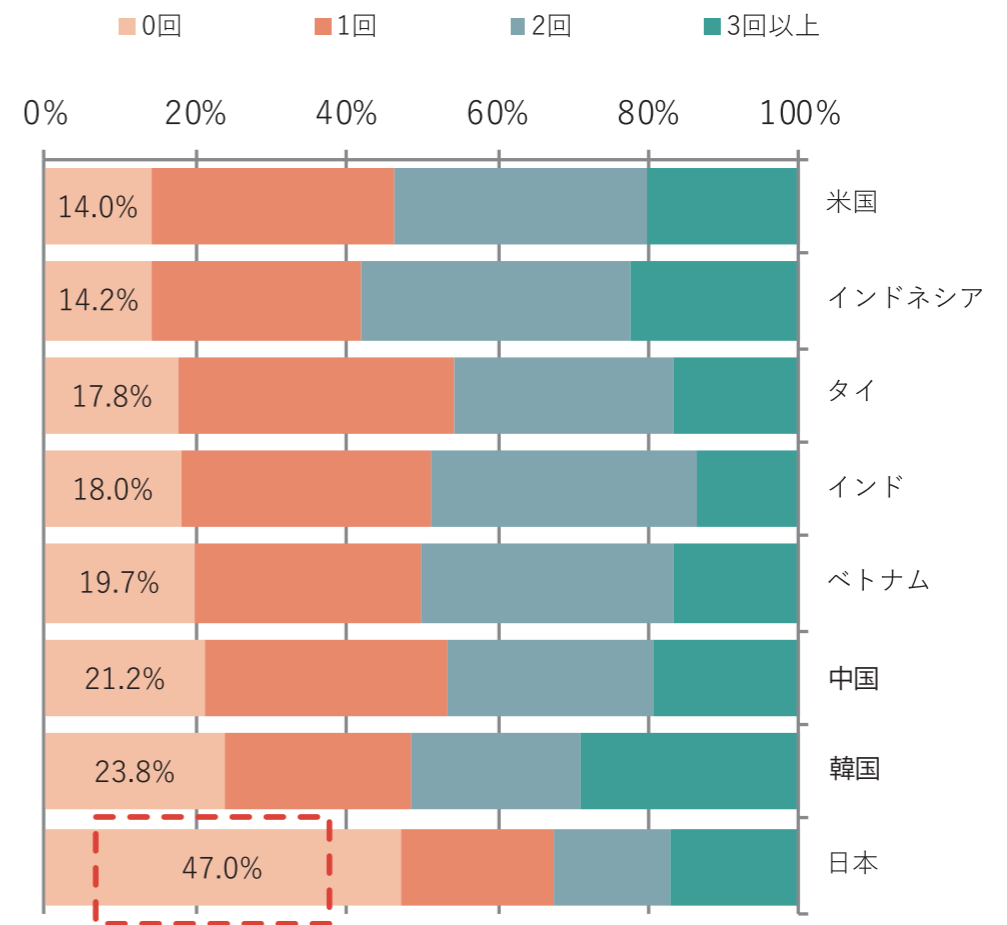
IT人材の需給ギャップ観測では、2030年に約59万人、最大79万人不足する可能性もあると想定。日本はIT人材の流動性が極端に低く、中途採用は苦戦していることもあり、IT人材の育成・確保は企業の経営課題。

## IT人材不足規模の推計



(出所)経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」

## IT人材の転職回数



(出所)経済産業省「IT人材に関する各国比較調査」2016年3月

国や関連団体、そして当社などの企業活動により未開拓であったフリーランス市場が徐々に拡大する傾向にある。

### 内閣府

第4次産業革命には、オープンイノベーションの実践が必要。  
企業の内外リソースを効率的かつ柔軟に活用を訴求。

### 経済産業省

「雇用によらない新しい働き方」（フリーランス等）について研究会を立ち上げ  
環境整備に着手。IT人材の最適配置を実現する為の人材流動性の向上策など、IT人材  
確保、活用の取り組みが顕著。

### 文部科学省

2020年より、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を  
身に付けるための学習活動として、小学校でのプログラミング教育を必修化。

### 関連団体

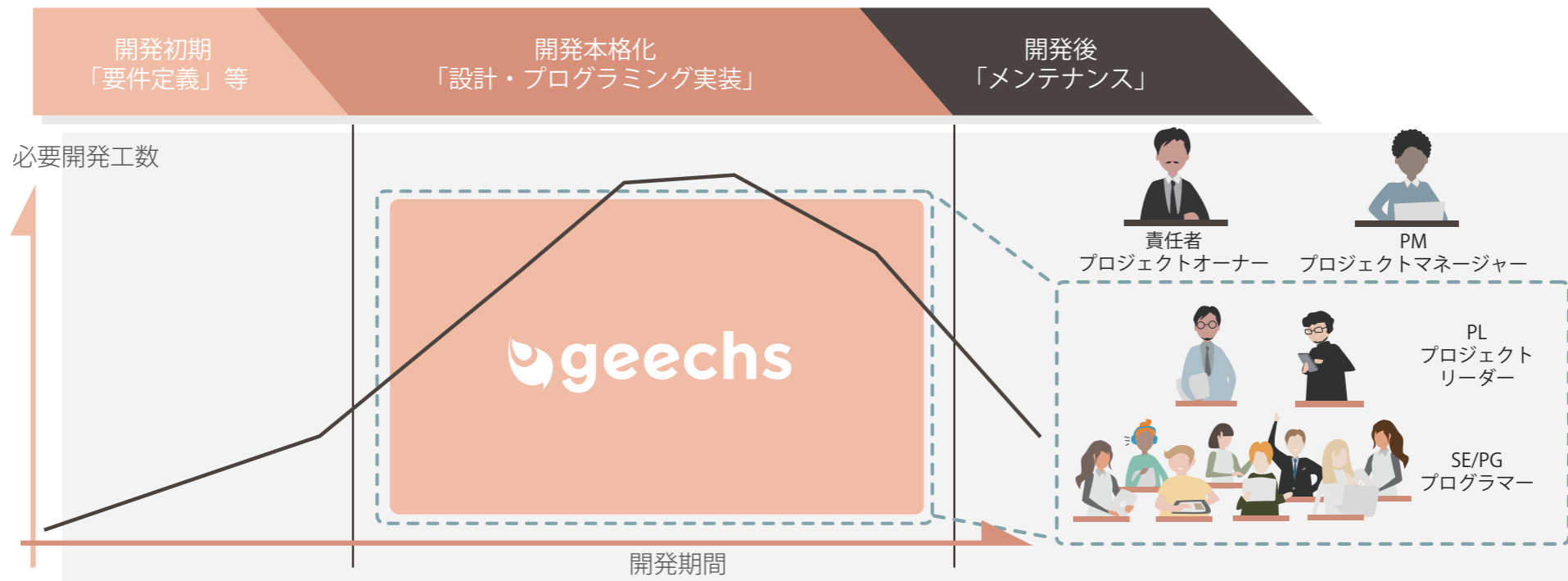
一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会が設立され、  
多様な働き方をする土壌作りや啓蒙活動がスタート。





## 特徴・強み

- プロジェクトで最も必要とする「設計・プログラミング実装」工程にポジショニング。
- 最大のビジネスボリュームを見込める領域でサービスを展開。
- 顧客企業の活用方法は、計画利用・想定外・繁忙期と様々。



計画利用

プロジェクトの人員確保時に、計画的に活用。

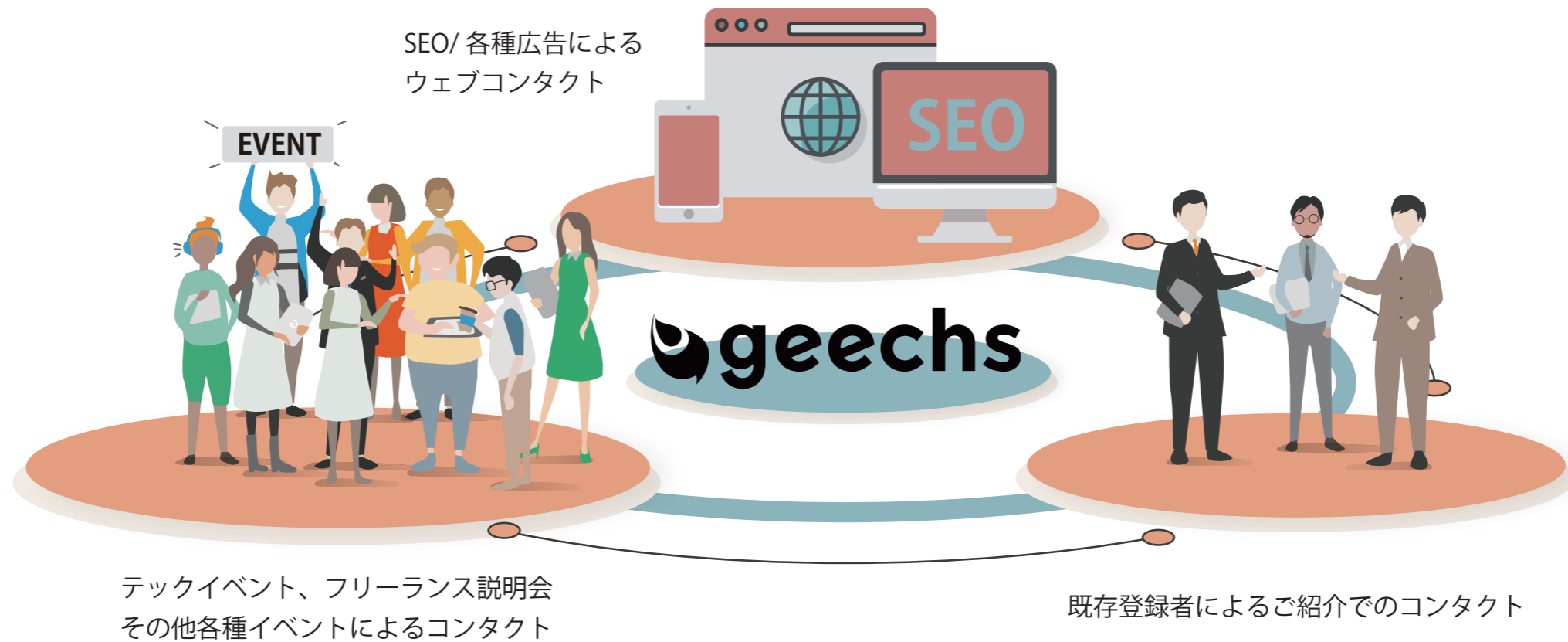
想定外

社員採用が計画通り進まない等、急な欠員時に活用。

繁忙期

何らかの要因によりプロジェクト進捗の遅延、季節要因時に活用。

- ウェブメディア「geechs job」にて、SEO、ネット広告を活用したオンライン登録。
- 各種セミナー・イベント・説明会の開催からの登録。
- 既存登録者からのご紹介による登録。



- 確定申告セミナーや健康診断の割引など仕事紹介以外のサービスを拡充中。
- ITフリーランスの不安要因の緩和、解消に尽力し、安心して長く働ける環境を提供。

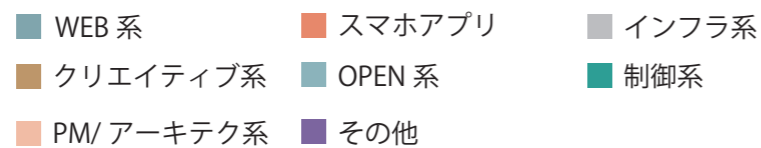
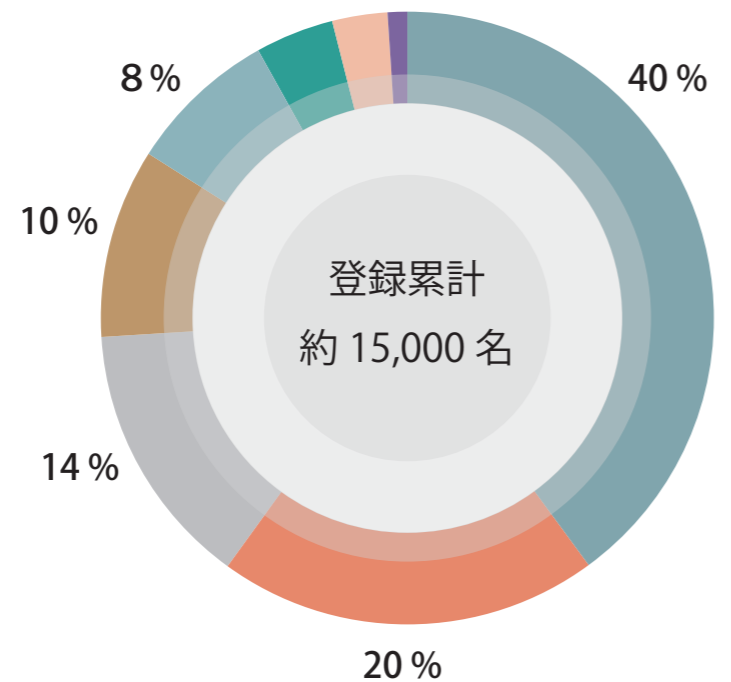
## ITフリーランス向け福利厚生プログラム



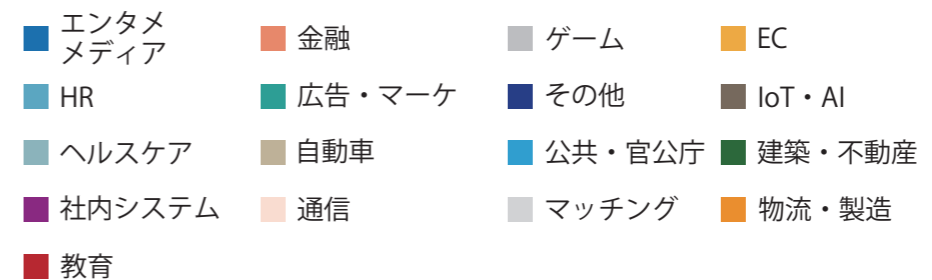
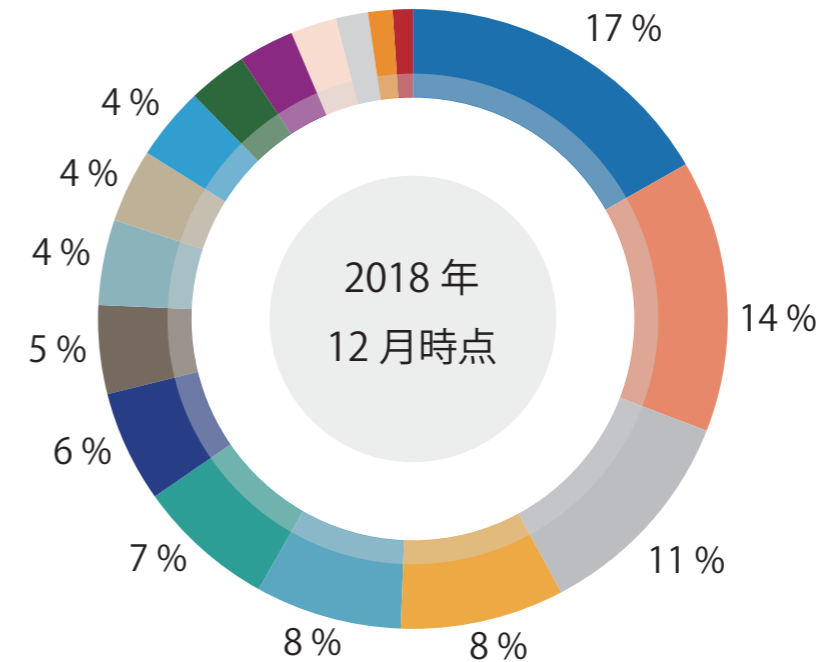
- 確定申告セミナーの開催
- 名刺作成の割引利用
- 会計ソフトの割引利用
- 各種オンライン学習サービス支援
- 健康診断の優待利用
- 人間ドック受診の割引利用
- 英語留学の優待利用
- 結婚などのライフイベントの特典利用
- 住宅ローン事務手数料の割引利用

- 登録ITフリーランスの技術属性は、WEB系・スマホ系エンジニアで60%を占める。
- 顧客企業の業種は、Bto C系サービス企業から金融・ゲームと幅広い分野に分散。
- 累計登録ITフリーランス数は、約15,000名。年間契約企業数は、約400~500社。

## 登録者属性



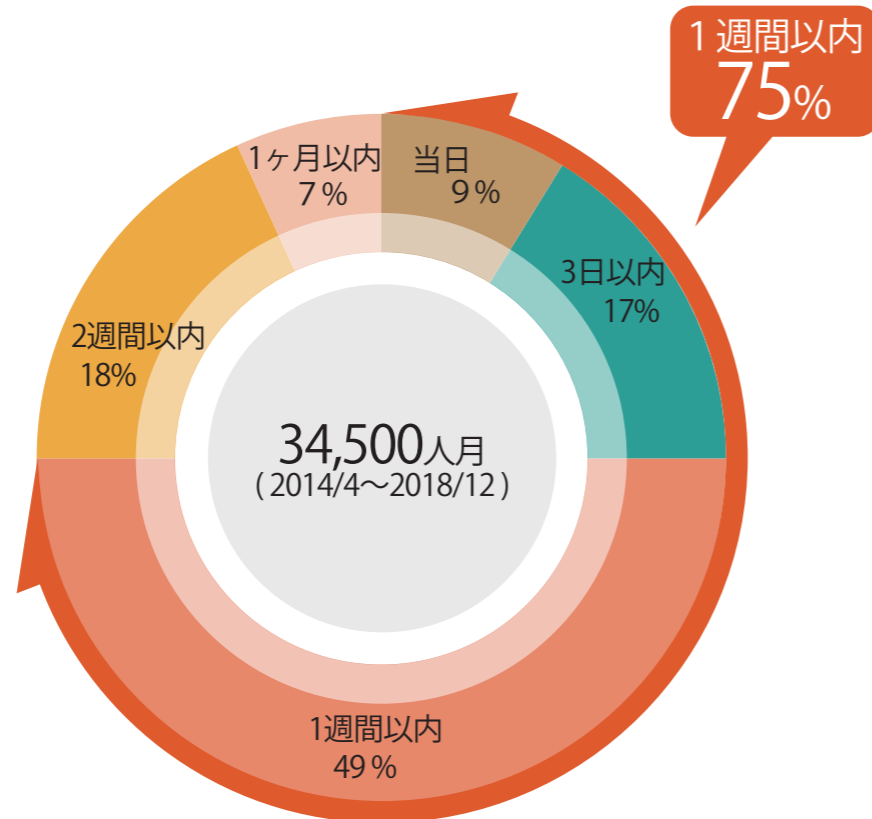
## 顧客企業内訳



- 顧客企業のIT人材不足によるニーズも追い風であるが、マッチング力が高い。
- 受注人月数も堅調に推移。2019年3月期は、10,000人月超のペース。

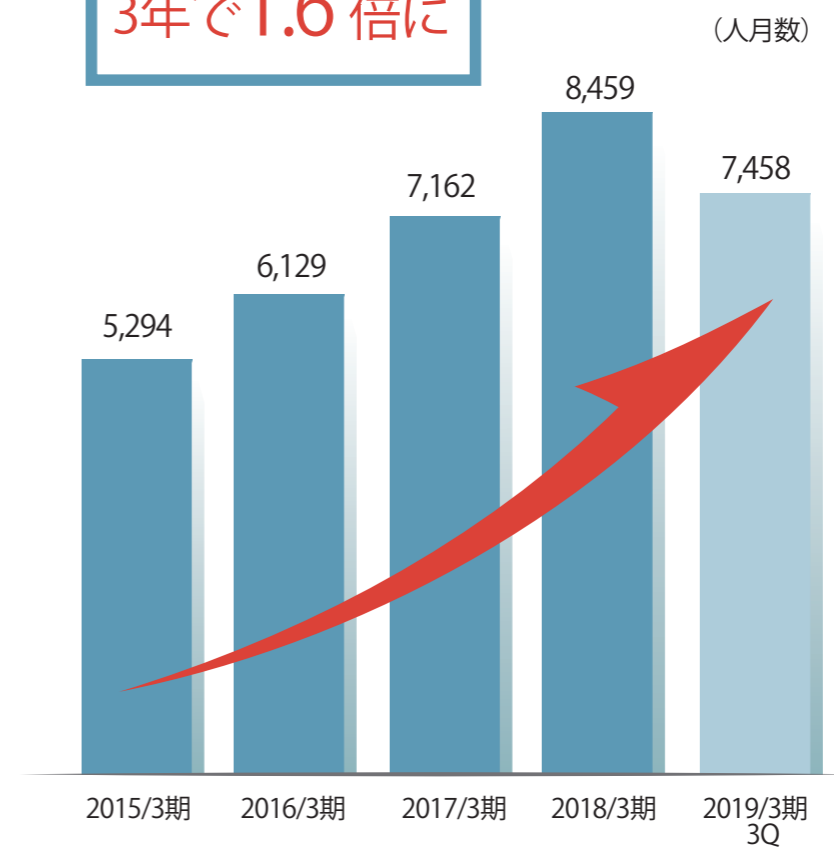
## 成約までの期間

企業からの依頼を受けて



## 受注人月数

3年で1.6倍に



- IT人材業界の新しいカテゴリー、フリーランスでの働き方にフォーカス。
- 技術面においても、比較的中級～ハイスペックに位置する開発系エンジニア層。

## IT人材業界マップ



- チーム体制下のプロジェクト推進にはオンサイトによるコミュニケーションが必須。
- システム運用ではなく、サービス・コンテンツ開発案件が大多数を占める。

## ITアウトソーシングマップ







## 成長戦略

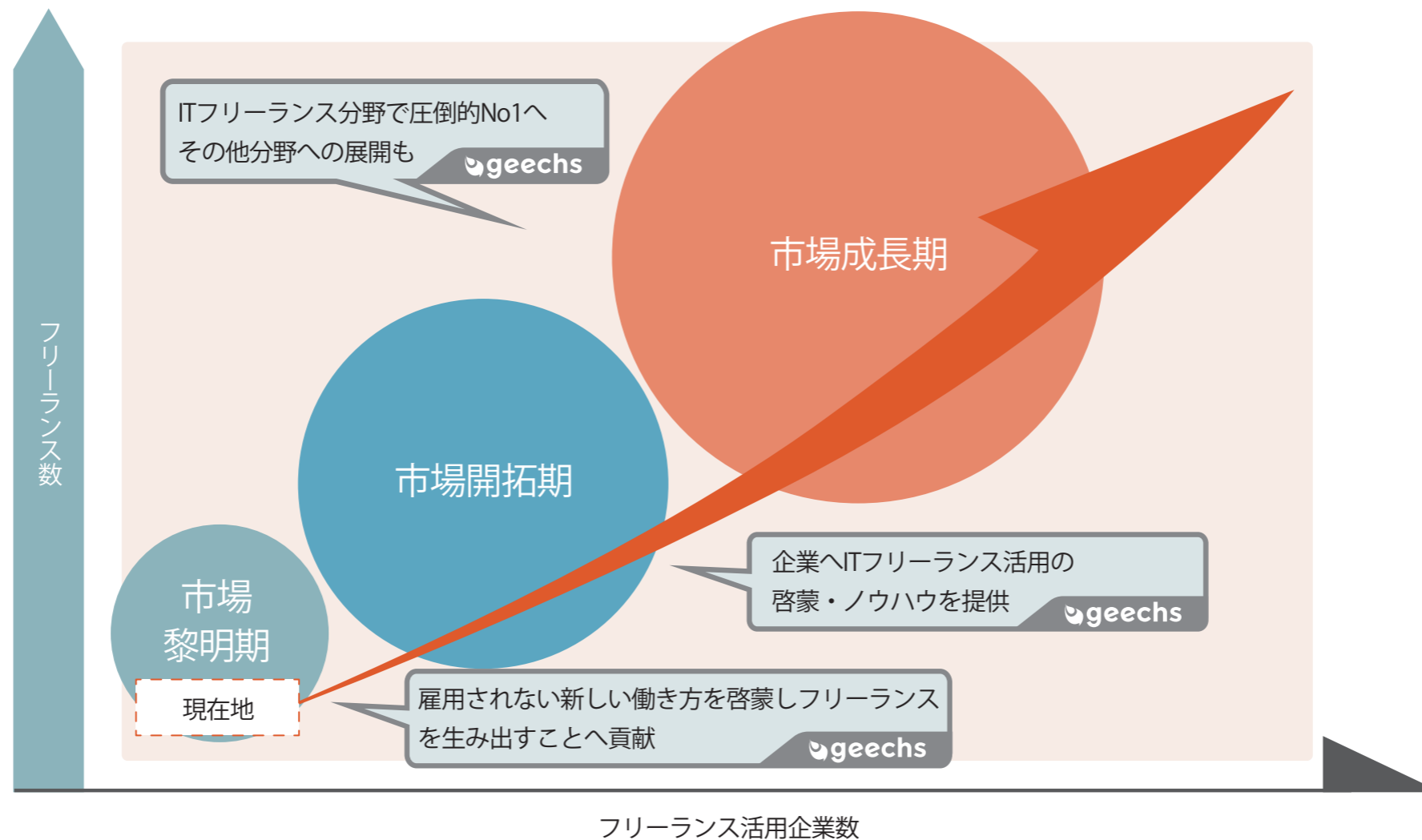
## 中長期ビジョン

ITフリーランス人材の活用を軸としたポートフォリオ経営を展開し  
当社の強みである人材事業領域のさらなる成長を加速させる。

## 今後の取組み

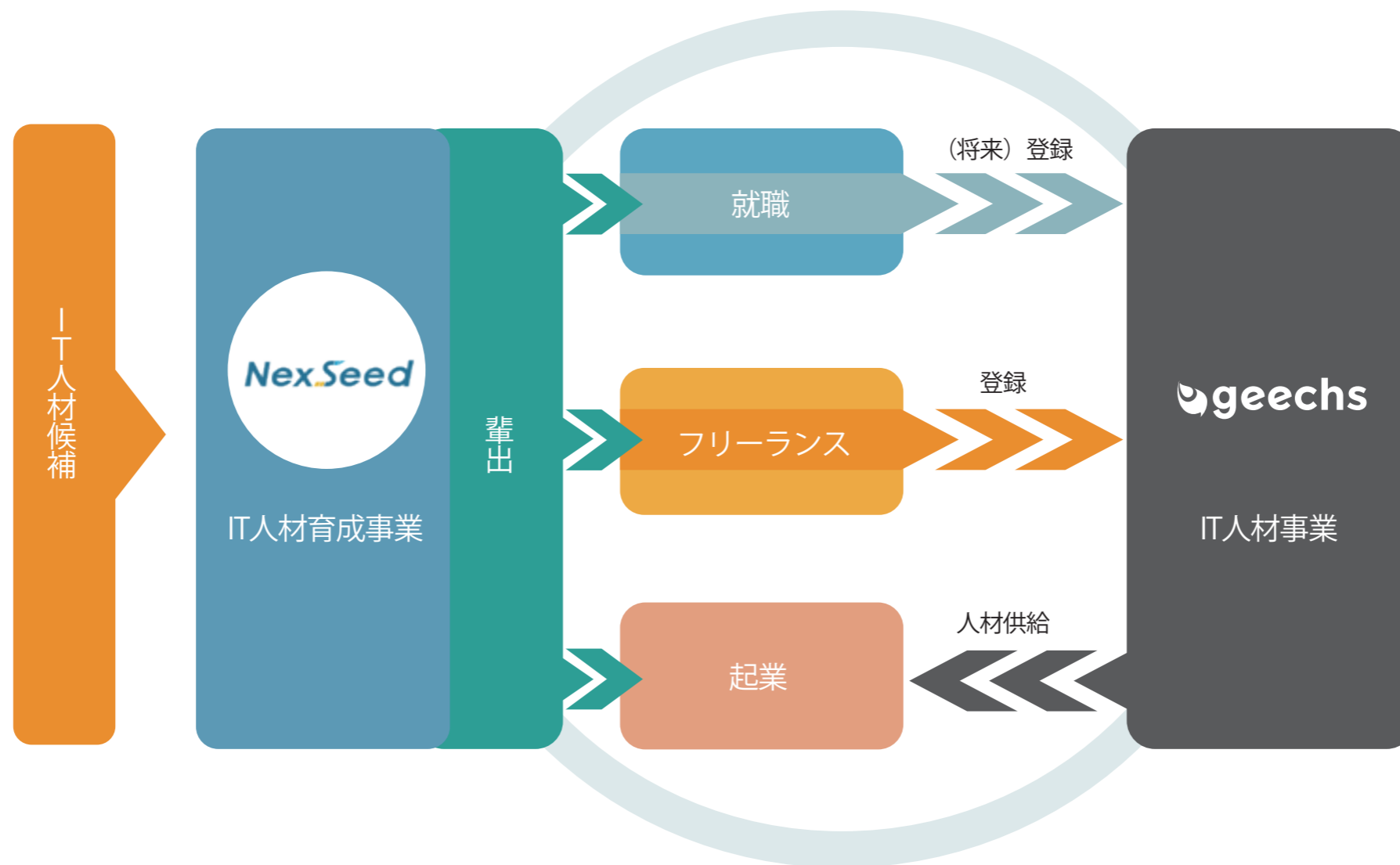
- ①フリーランス市場への貢献
- ②新たなIT人材育成とグループ内連携
- ③さらなる事業ポートフォリオの拡大

- 21世紀は働き方の概念が変わり、フリーランスが当たり前の時代に。
- ITフリーランス以外の職種でも加速が見込まれる。



- IT人材需給の過度な逼迫は明確であり、IT人材の育成が不可欠。
- グループ会社ネクシードとの連携により、IT人材事業と両輪体制を実現。

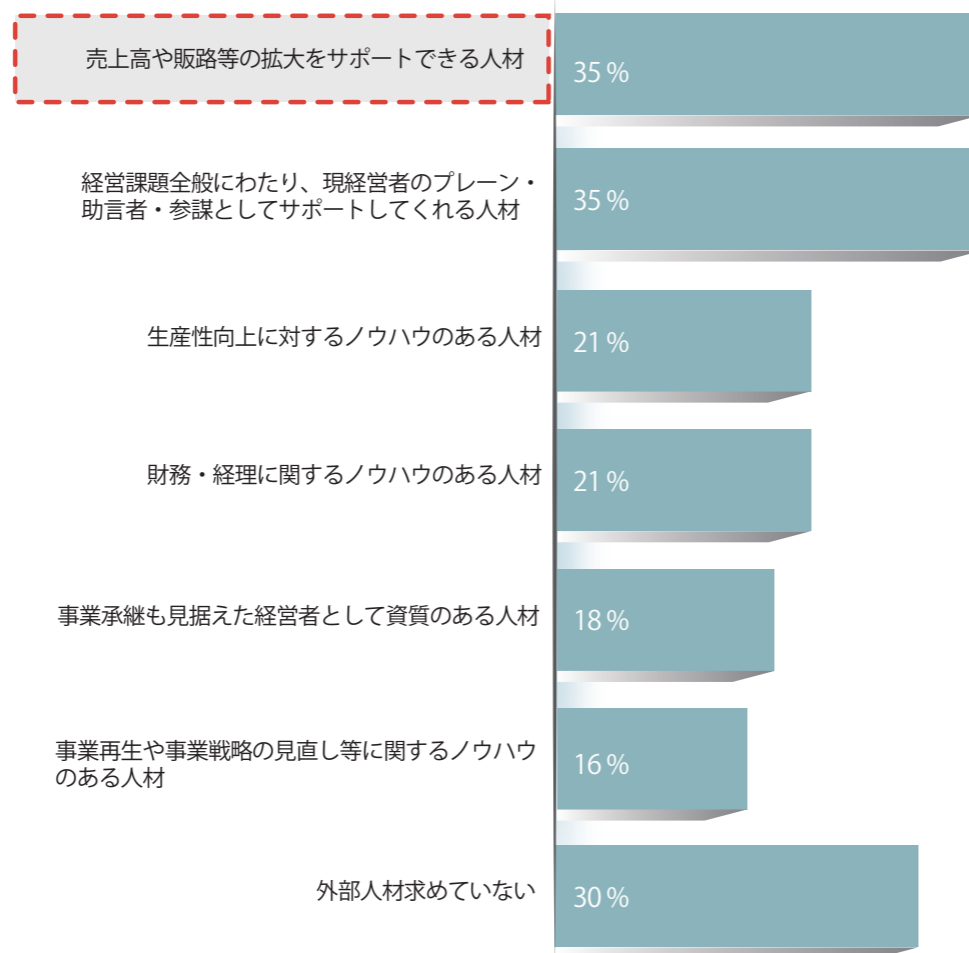
### IT人材育成事業の強化



### ③ さらなる事業ポートフォリオの拡大

- 企業の人材ニーズ調査では、営業/販売の人材不足がトップ。
- 『リソースのシェアリング』の観点で、IT人材以外の分野へ横展開を模索。

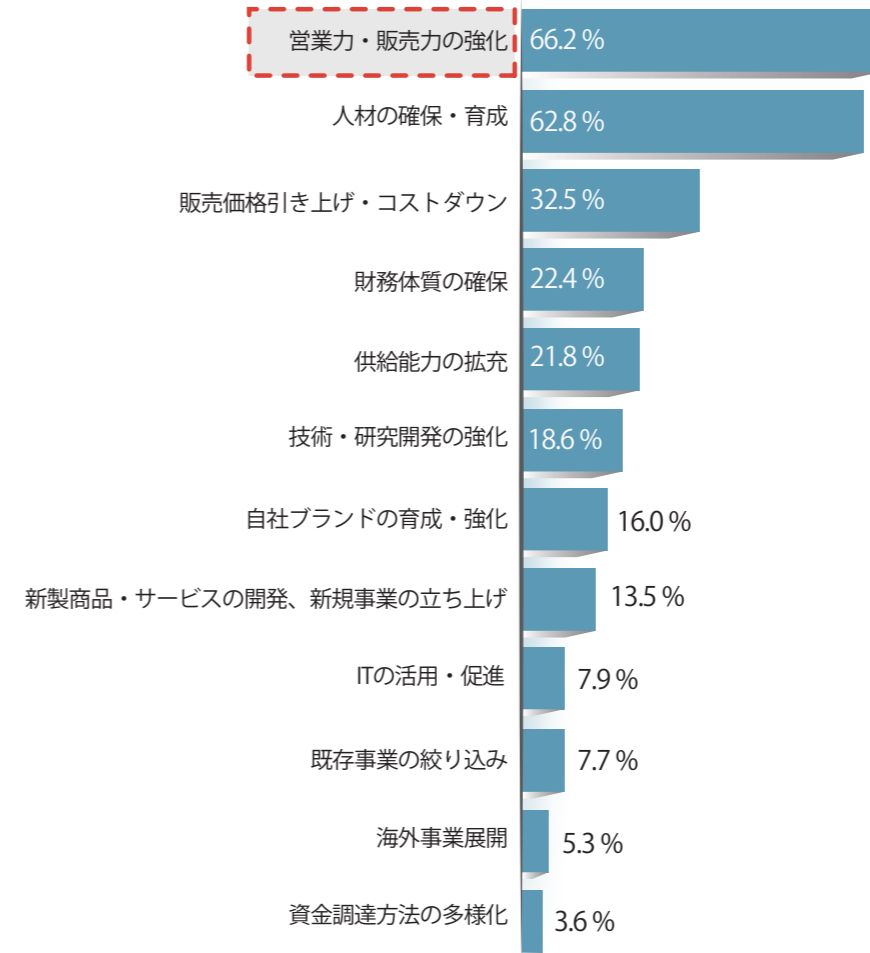
#### 地域中小企業が求める外部人材像



(出所) 「企業アンケート調査の結果」(金融庁)

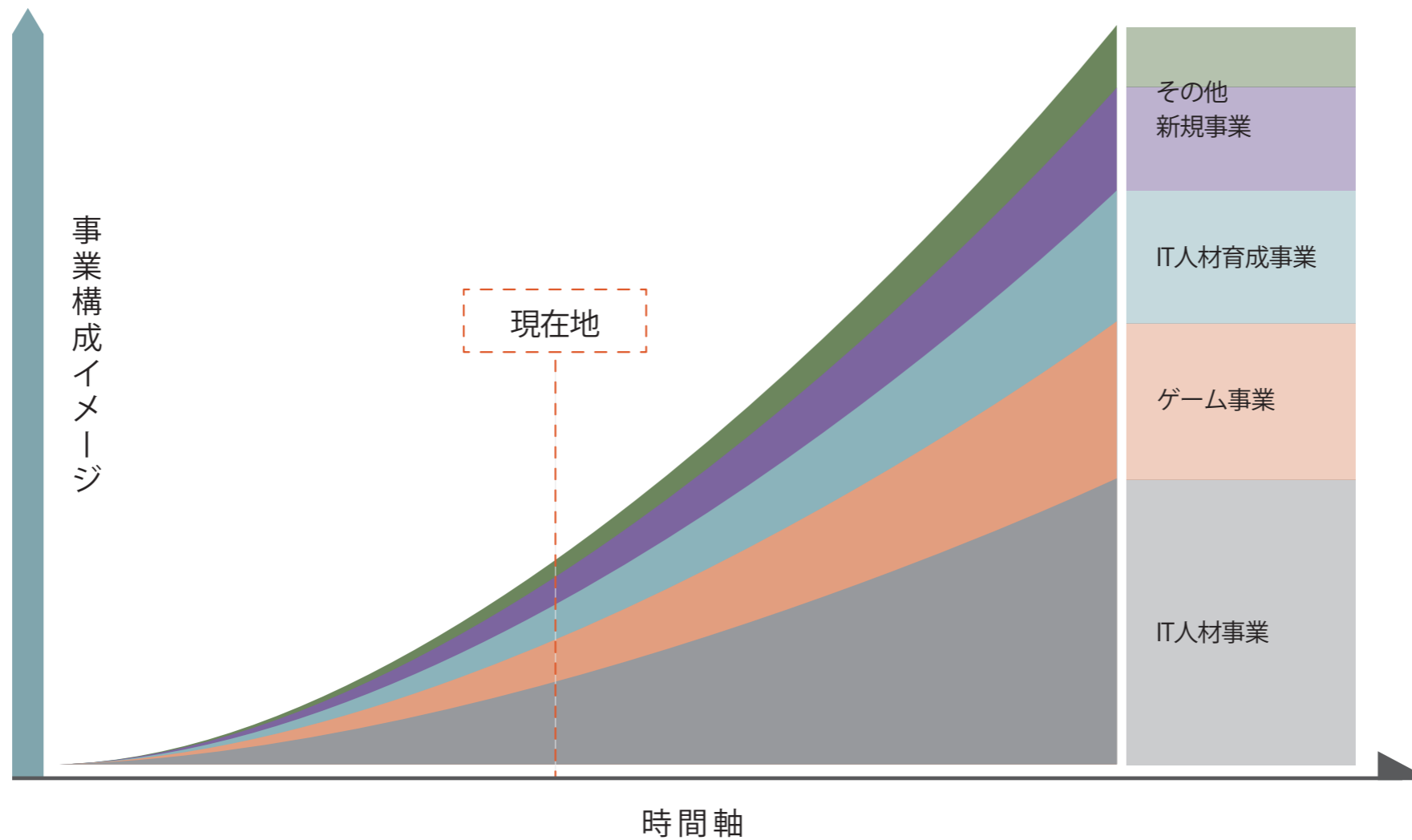
#### 中小企業の人材ニーズ

(複数回答)



(出所) 「企業アンケート調査の結果」(金融庁)

当社グループの強みであるIT人材領域の事業成長を更に加速させ、変化対応力を強みに、提供サービスの創造・進化を通じて、IT・インターネット分野を軸としたポートフォリオ経営を展開し、永続的な企業価値向上を目指す。

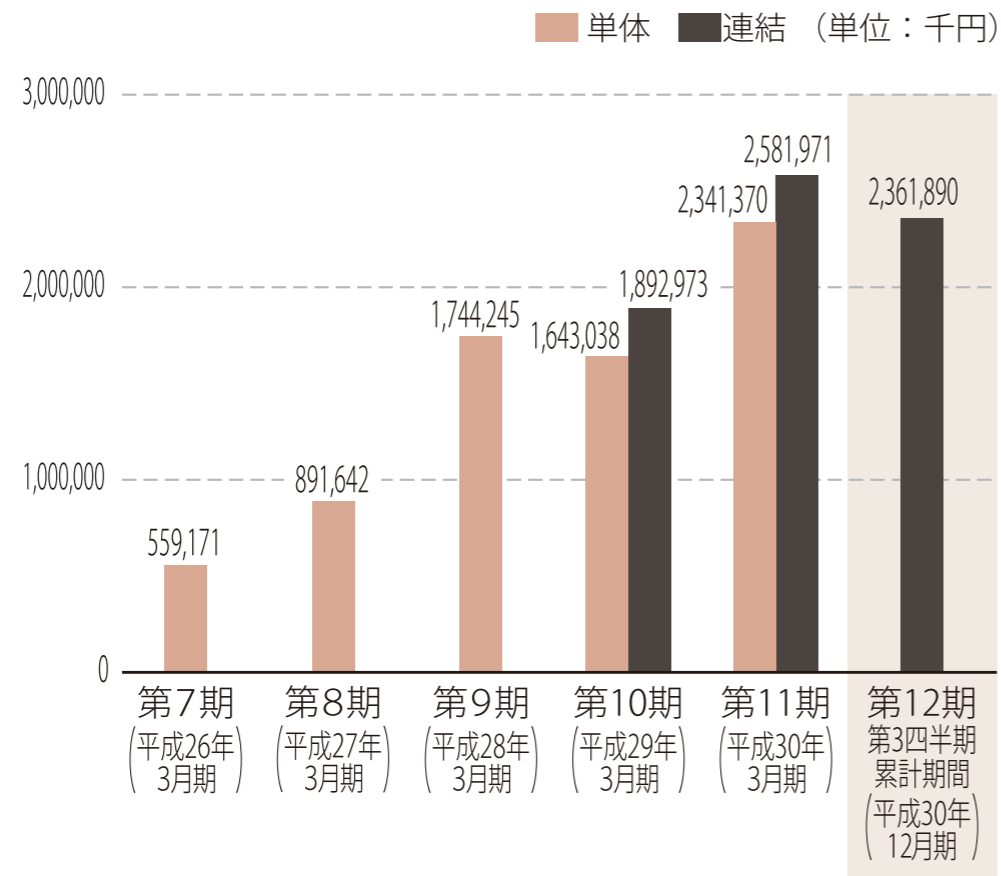


## 沿革

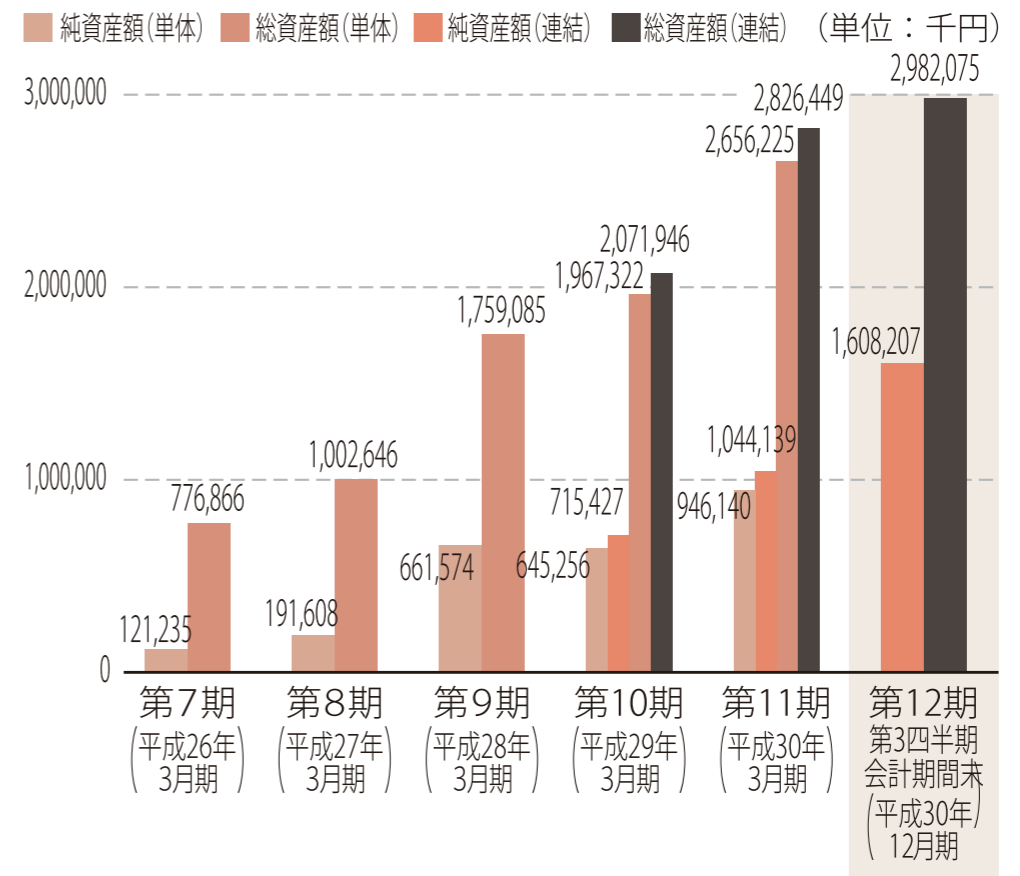
年 月	内 容
2007年8月	IT人材事業を展開する(株)ベインキャリアジャパン (現 ギークス(株)) を設立 (資本金5,000万円)
10月	グローバルリクルーティング事業を開始
2009年1月	プライバシーマーク認証取得
2012年2月	(株)ブラフマーズ・ジャパンを吸収合併し、ゲーム事業(現 G2 Studios(株))を開始
4月	グローバルリクルーティング事業の子会社として(株)ベイングローバル設立
10月	シンガポールにて海外子会社Vein Carry Asia Pte.Ltd.(現 BA Consulting Pte. Ltd.)設立 ・東南アジアでの海外事業展開の市場調査及びマーケティング活動拠点
2013年1月	フィリピン セブ州にて海外子会社NexSeed Inc.(現 連結子会社)設立 ・エンジニア留学および英語留学を提供するIT人材育成事業
6月	ISMS認証取得
10月	ギークス(株)に商号変更
2014年1月	映像・動画制作事業(現 動画事業)を開始
10月	IT人材事業 大阪サテライトオフィス(現 大阪支店)開設
12月	IT人材事業 名古屋サテライトオフィス開設
2016年3月	Geechs Asia Pte.Ltd.売却
4月	ゴルフ情報サイト「Gridge(グリッジ)」リリース
5月	IT人材事業 福岡サテライトオフィス(現 福岡支店)開設
2018年4月	(株)ベイングローバル売却
5月	ゲーム事業を分社化し、G2 Studios(株)(現 連結子会社) 設立

## 業績ハイライト

### 売上高



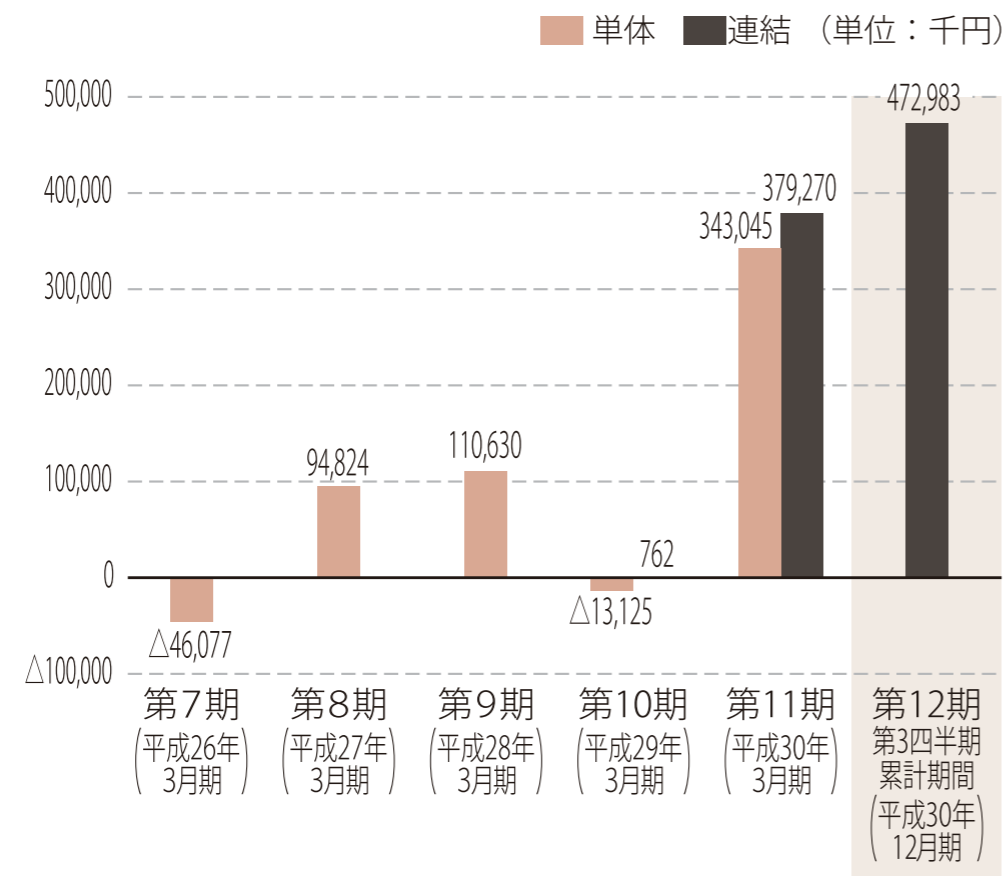
### 純資産額／総資産額



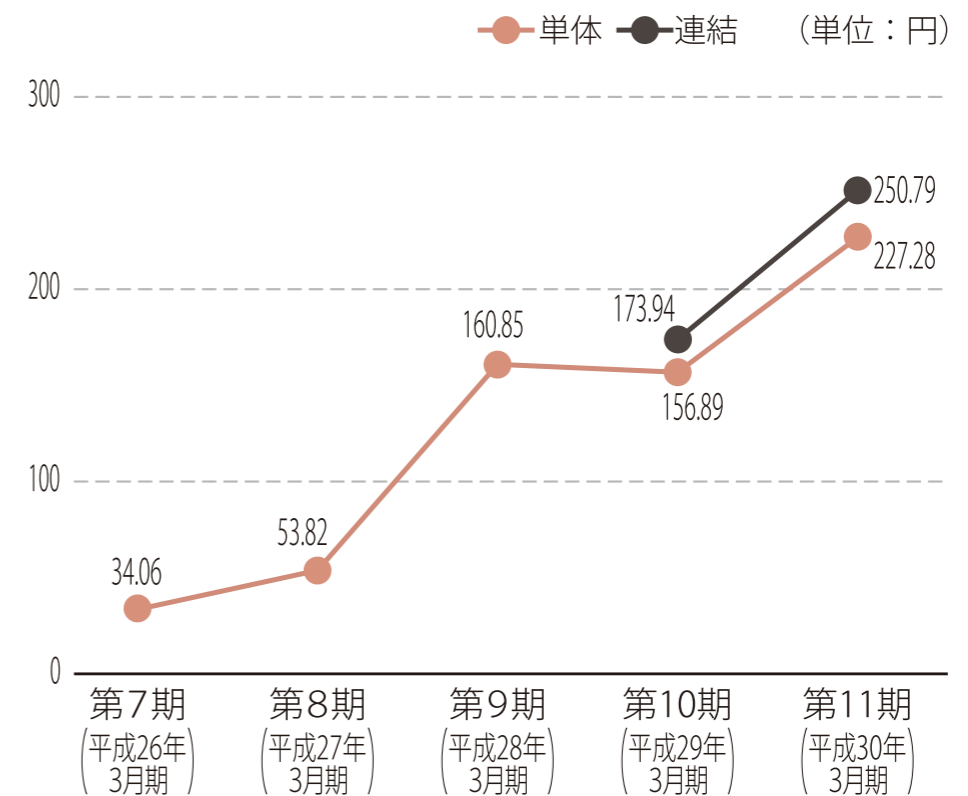


## 業績ハイライト

経常利益又は経常損失(△)



1株当たり純資産額



- 本資料は、ギークス株式会社の業界動向及び事業内容について、同社が現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ギークス株式会社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2019年3月現在において利用可能な情報に基づいてギークス株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性等について当社は何らかの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。